

研究実施のお知らせ

研究課題名：急性期病院の一般病棟における患者の予期せぬ臨床的急性増悪に影響する要因の検討

研究の意義・目的

医療機関における臨床的急性増悪（急変）は患者の生命に関わる深刻な有害事象の一つと言えます。その有害事象を回避するために院内迅速対応システムが導入されています。高齢化が進む日本の急性期病院においては、基礎疾患を有し、複雑な処置や検査を受ける場合もあり、従来の院内迅速対応システムの基準だけでは困難な場面も想定されます。そこで、本研究では、急変につながる要因や生命予後に関わる緊急対応コール要請の要因を特定することで、入院患者の有害事象を回避するための方策を検討することができると考えております。

研究の方法

1) 研究対象者

2021年4月から2022年3月まで島根大学医学部附属病院の一般病棟に入院した患者のうち緊急対応コール要請対象者となった患者様です。

2) 研究実施期間

看護学倫理委員会承認後から2025年3月31日

3) 研究方法

島根大学医学部附属病院の電子カルテデータから「島根大学医学部附属病院電子保存診療情報利用要項」に従って、手続きを行い、本研究に必要な情報を収集します。

4) 使用する情報

使用する情報は、基本属性（年齢、性別）、入院時の主病名、基礎疾患（心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、肝硬変、慢性腎不全、悪性新生物、誤嚥性肺炎）の有無、コ院内迅速対応システムまたはハリーコール要請発生時から遡って5日前までのバイタルサイン（呼吸数、心拍数、血圧、意識状態、体温）・血液検査及び治療状況・検査、緊急対応コール要請発生時の記録、転帰を収集します。

なお、島根大学医学部附属病院よりデータ提供される際には、個人情報削除され匿名化されており、研究者は個人を識別することはできません。

5) 分析方法

上記のデータについて、緊急対応コール要請者の特徴、従来の院内迅速対応システムの基準の適応度、転帰と各要因との関連を検討する。

6) 個人情報の取り扱いについて

研究責任者及び研究分担者が、研究実施計画書の規定に従い研究に使用するデータを取り扱います。収集した情報は、パスワードを設定した USB データとして責任者が管理し、外部から容易にアクセスできない方法で管理します。

7) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後 10 年間保存します。なお、保存した情報は本研究のみに用い、他の目的では使用しません。

8) 研究成果の取り扱い

本研究の成果は、関連学会、雑誌等で公表しますが、個人情報が特定されることはありません。

この研究は、島根大学医学部看護研究委員会で審議を受け、医学部長及び医学部付属病院長の許可を受けております。また、すでに対象となるデータは収集されていますので、研究について口頭による説明・同意など、インフォームドコンセントの手続きは省略いたします。

ご自身の情報を研究に利用してほしくない場合はデータセンターから提供いただくデータから削除いたしますので 2022 年 10 月 30 日までに研究者にご連絡ください。それ以降にご連絡いただいても個人を特定できる情報を削除したデータとなっておりますのでデータを削除することができません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は研究責任者にご連絡ください。

研究責任者:

島根大学医学部基礎看護学講座 教授 古賀美紀

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2316 MAIL mk8592@med.shimane-u.ac.jp